

仕 様 書

消防ポンプ自動車
〔C D- I 型〕

(令和 7 年度)

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部

消防ポンプ自動車 CD-I 型 艤装仕様書

第1 総 則

1 目 的

この仕様書は、安房郡市広域市町村圏事務組合（以下「組合」という。）が令和7年度に購入する、消防ポンプ自動車CD-I型（以下「車両」という。）の艤装、性能、積載器具及び検査時の基準、その他必要な事項一切を定める。

2 艤装概要

- (1) 車両は、令和7年度に公表製作されたもの、又はすべて新規製品のものでなければならない。
- (2) 車両は、道路運送車両法（昭和26年6月1日 法律第185号）並びに道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）等の関係する法令に適合し、関東陸運局の新規登録検査に合格するとともに、緊急自動車として千葉県公安委員会の承認が得られるものであること。
- (3) 車両製作に際し、「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」（昭和61年自治省令第24号）に定める規程に基づくものであること。
- (4) 車両は、2WD方式3t級シャシーを基としてA2級高圧ポンプ、ホース延長用資機材（以下「ホースカー」という。）動力昇降装置付を装備、防火水槽等の水利から自力吸放水できる機能を有し、定員5名以上で規格に適合し、本仕様書をすべて満足した車両であること。
- (5) 製作に使用するすべての材料は、日本産業規格に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。
※ 地域性に鑑み、塩害及びそれらに伴う腐食防止等、完全に対処しうる上質の材料とすること。
- (6) 受注者は、この艤装に際して仕様の目的が十分達せられるよう製作し、技術上変更を要する場合及び、疑義のある場合は組合の承認を得なければならない。又契約後に生じた疑義は、すべて組合の解釈によるものとし、組合の出す新たな指示事項は、本仕様書と同等の扱いとすること。
- (7) この仕様書は、消防消第80号 平成19年5月14日付「消防車両の安全基準の周知徹底について」（総務省消防庁 消防・救急課長通知）「消防用車両の安全基準について・消防ポンプ自動車編」にすべて準ずるものとし、製造工場については品質管理システム（ISO9001認証取得）を構築していること。また、環境に配慮したISO14001認証取得工場で作成するものとする。消防自動車として求められる長期の使用に耐え得る強度と耐久性を有するよう施工すること。
- (8) この仕様書に記載されていないものでも、消防自動車として当然備えていなければならない

いものは施工すること。

- (9) 受注者は、この艀装に際して総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを十分考慮して製作すること。
- (10) 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他の権利上の問題が発生した場合には、その責任のすべてを負うものとする。
- (11) 受注者は、この艀装が完全かつ強固に、安全性を十分考慮して完成するよう事前に検討し、契約後 1 週間以内に組合と細部に亘って十分に打ち合わせを行い、工程に支障のないように確認すること。その後、1 週間以内に打ち合わせ議事録を 1 部組合に提出すること。
- (12) 納入後 2 年以内に生じた設計、資機材その他工作上の不備、故障又は破損の一切は受注者の負担とし、連絡を受けたら即日引き取りを行い、2 日以内に入庫しすみやかに修理すること。
- (13) 受注者は、運用開始後に改善すべき事柄が発生した場合、上記(12)と同様に対処すること。
- (14) 受注者は、保証については定められた期間とするが、保障期間後といえども設計不良、工作不良に起因する不都合箇所が発生した場合は、上記(12)と同様に対処すること。
- (15) 軽微な修理、部品交換等の場合も、必ず消防ポンプ自動車に関する確かな技術を有する担当者が上記(12)と同様に来署し組合の指示に従い、その場で修理、又は部品交換等を行うこと。
- (16) 緊急的な要請時、又は緊急的な修理には、必ず消防ポンプ自動車に関する確かな技術を有する担当者が、6 時間以内に来署しすみやかに対処すること。
- (17) 運用を加味した重量で車検登録を行うこと。(別途協議)

3 提出書類

提出書類は下記のものを 2 部作成し、ファイルに収めたものを提出すること。

- (1) 製作に先だち受注者は、本仕様の全般を確認し C D - I 型の用途が十分に果たされるよう留意するとともに、次のものを提出し組合の承認を受けること。
 - ア 設計図(五面) 20 分の 1 (附属品等取付図含む)
 - イ ポンプ搭載図及びポンプ配管図
 - ウ シャシー諸元表
 - エ 車体骨組図
 - オ エンジン性能表
 - カ 工程表
 - キ ホース延長用資機材(動力昇降装置含む)製作図
 - ク 積載梯子昇降装置製作図
 - ケ ポンプ主要部品一覧表
 - コ その他組合の指示するもの
- (2) 車両納入時、次のものを提出すること。
 - ア 検査合格証(写)
 - イ ポンプ性能検査表

- ウ 完成図（五面）
- エ ポンプ取扱い説明書
- オ 写真 前後、左右、上部面、転覆角度検査、重量実測検査（データでも可）
- カ 各資機材取扱い説明書（各種動力昇降装置・積載資機材関係）
- キ 緊急自動車届出関係書類
- ク その他組合の指示するもの

4 検 査

艀装中に工程確認、指示又は検査のため組合が工場に出向するが、正当な理由なく拒むことができない。指示又は検査のため、組合が進捗状況の報告を求めた時は、パソコンのメールにて写真・動画等で報告すること。

指示又は指摘箇所が発生した場合は、速やかに修正を行いその結果をパソコンのメールにて写真・動画等で報告し、承認を得なければならない。検査の結果、組合が不合格と認めた場合軽微なものは即日、重大な修正が必要な場合であっても5日以内に修正作業を行い、再検査を受けること。

- (1) 納入前に、中間検査を行う。中間検査は基本的に1回とするが、組合が不適當と認める場合及び疑義が多数発生した場合等は、中間検査の回数に制限は設けない。

検査に係る費用は受注者の負担とするが、検査に係る旅費は組合が負担する。

- (2) 納入時に、完成検査を行うとともに性能検査及び員数検査も行う。検査に合格しなければ組合は納入を一切拒否する。物品の員数不足等にあっても同様とする。そのため納入期限が遅延しても、その責任は受注者が完全に負うこと。

- (3) 完成車両は、日本消防検定協会及び関東陸運局千葉陸運支局袖ヶ浦自動車検査登録事務所の車両検査に合格したもの（新規登録手続完了）を組合に納入すること。

5 手続き等

次の事項に係る手続き等は受注者が代行し、検査を伴うものにあつてはこれに合格後、納入すること。

- (2) 関東陸運局の車体検査に關すること。
- (2) 千葉県公安委員会の緊急自動車等の指定申請（届出）に關すること。
- (3) 当組合の更新対象車両の一時抹消登録を代行すること。また、更新対象車両のシール、サイレンアンプ及び赤色灯等を取り外すこと。（時期については別途指示）
- (4) 車両ナンバーは希望ナンバーとする。（別途協議）

6 シャシー主要諸元

組合の車両に使用するシャシーは次のとおりとする。

- (1) 性能、寸法及び諸元

ア	定 員	5名以上
イ	型 式	ディーゼル
ウ	駆動方式	2WD
エ	総排気量	4 0 0 0 c c 以上
オ	最大出力 (k W／rpm)	1 1 0 k W／2 3 0 0 rpm以上
カ	消防検定出力 (k W／rpm)	1 1 0 k W／2 3 0 0 rpm以上
キ	最大トルク (kg. m／rpm)	4 4. 9 kg. m／2 3 0 0 rpm以上
ク	寸 法 (全 長)	5 7 0 0mm以下
	(全 幅)	1 9 0 0mm以下
	(全 高)	3 0 0 0mm以下
	(ホイールベース)	2 8 0 0mm以上
ケ	変速機	オートマチック
コ	オイルクーラー	水冷内蔵式
サ	オルタネーター	2 4 V－8 0 A以上で消防活動において照明及び付属品等が十分使用できる発電能力を有するもの
シ	燃料タンク	7 0 L前後のもの
ス	蓄電池容量	1 0 5 E 4 1 R (同等以上) × 2
セ	タイヤ	全天候型ラジアルタイヤ×7 (スペアタイヤ1本ホイール付き含む)
ソ	ホイール	スチール製
タ	制動装置	EBD機能付ABS
チ	安全装置	運転席エアバッグ
ツ	オイルパンヒーター	コンセント (規格別途指示) は右側運転席側とし、外部電源コード1 5 mコネクター付き (車両側マグネット式)

(2) その他

- ア パワーステアリング (シャシーメーカー純正品)
 - イ 電動キャブチルト (シャシーメーカー純正品 電動油圧式 チルトシリンダー 2本)
 - ウ サイドバイザー (シャシーメーカー純正品 ドア上部の前後左右)
 - エ 泥よけ (シャシーメーカー純正品 全輪)
- ※ 特に指示のないものは標準装備とする。

第2 艤 装

1 車体構造

- (1) C D－I 型としての用途に合致した精度と強度を有するものであること。

- (2) 安全に係る構造部分の強度については、強度計算書等により確認されていること。
- (3) ポンプ、ホースカー等の重量物の取り付け部、ギヤケース、駆動ジョイント、ポンプシャフト等ポンプ駆動装置の荷重の加わる部分にあつては、十分な強度を有していることが強度計算等により確認されていること。
- (4) 通路等の床及びその取り付け部は、踏み面にア及びイの外力を垂直方向に加えた場合、永久に変形が生じないこと。
 - ア 任意の場所の125mmの直径に1800Nの荷重とし、昇降用梯子にあつては、横棧中央125mmの幅に1800Nの等分布荷重とする。
 - イ 1㎡当たり一様に4500Nの荷重
- (5) 手摺りは、任意の点に900Nの荷重を作用させた場合に永久に変形が生じないものであること。
- (6) ステップは、任意の点に1800Nの荷重を作用させた場合に永久に変形が生じないものであること。
- (7) 各積載品の取り付け金具等は900N、固定用ベルトは500Nの荷重を作用させた場合、永久に変形が生じないものであること。

2 艀装材料

使用される材料は、耐食性に優れたもの又は、必要に応じ防食処理が施されたものであり、難燃性の優れたもの及び経年劣化の少ない素材を適正に選定すること。

3 ポンプ

- (1) ポンプは、高圧1段ボリュートポンプまたは高圧2段バランスタービンポンプとし、ポンプ装置の軸封部にメカニカルシールを使用して軸封部の密封性能及び耐久性能を大幅に高め、長期にわたりメンテナンス性の高い構造とすること。
- (2) 性能は、A-2級以上とする。
 - ア 規格放水圧力(0.85Mpa)で毎分2300L以上
 - イ 高圧放水圧力(1.4Mpa)で毎分2000L以上
- (3) ポンプの材質は、軽量化と防錆性向上を図るため本体をアルミ製とすること。ただし、砂利等の混入にも対応できるよう強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅鑄物製(BC製)又はアルミ製特殊コーティングを施したものとすること。ポンプの架装位置は努めてエンジン部に近づけ、かつ点検手入れに便利なよう堅固に取り付けること。
- (4) 主ポンプ及び附属装置を支える鋼材は、溝型鋼等でシャシーフレームに堅固に取り付け、振動や衝撃等により緩みや変形等を生じないようにすること。
- (5) ポンプドレーンコックは、30秒以内にポンプ内の残水を完全に排水できるものとすること。
 - ポンプ室点検口は、ポンプ室前部、ポンプ室上部及びその他必要箇所に設けること。

- (6) ポンプ室前部側板は、点検に便利な構造とし、ポンプ室上部は出来る限り大きく開放出来る構造で取り外し可能とすること。

ポンプ室内にLED照明灯を2箇所、堅固に取り付けること。

- (7) ドレーンの各配管の排出弁は、吸水系統と吐水系統に色分けし集中ドレーン方式とすること。

4 吸水装置

- (1) 真空ポンプは、消防本部管内の地形的特長を考慮し、最大真空が高く、河川等での高落差でも吸水条件のよく、故障の少ない耐久性に富んだピストン式又はエゼクター式とし、オイルレス無給油ポンプ式とすること。
- (2) 真空ポンプの駆動接断は、電磁式又は電気式装置とし、左右いずれからでも操作が可能で、水圧0.3MPa/cm²以内で自動的にクラッチが切れ、非常用の停止スイッチを設けること。
- (3) 真空ポンプは故障等を防ぐための安全装置（遠心分離器及び水遮断器 同等品可）を取り付けること。

5 ポンプ調整装置・動力伝達装置

- (1) ポンプ運転のための動力取り出しは、車両の運行に影響を及ぼさず、動力が効率良く伝導され操作が容易にできる構造とすること。
- (2) スロットルダイヤルは、ポンプ室左右のいずれからでも各計器類を見ながら操作ができるように取り付け、円滑に微細な調整ができ、かつ振動等で変調しない調速ダイヤル式とすること。
- (3) ポンプの運転切換え操作は、運転席付近に設けたボタン式スイッチにより行えること。
- (4) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設けること。

ア スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとすること。

イ 自動調圧機能

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧まで圧力を上昇させ、設定圧以上になった場合は設定圧まで圧力を下げる自動調圧装置をポンプ操作装置内に設ける。画面に表示された0.4～1.0Mpaまでの7段階の設定ボタンを選択する事で自動的に圧力制御を行える構造とすること。また、前述以外の低圧・高圧での制御に対応する為、任意の圧力でも自動調圧機能が働く構造とすること。なお、スムーズに手動の放水操作に切替えができる様に手動のスロットルダイヤルを操作する事で自動調圧が解除される構造とし、自動調圧作動中においては手動のスロットルハンドルは勝手に動かない構造とすること。

ウ スロットルインターロック

P. T. Oがつながっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ないスロットルインターロック機能を設け、スロットルの開度表示もP. T. Oが入っている時のみ変化すること。

エ 流量計色分け表示

操作盤表示の流量計については、車体の左右に関わらず、両側面の放水口の流量が確認できること。また流量の表示は放水操作時の目安となるように、流量によって表示色が変化すること。

オ 緊急減圧機能

左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドリングまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

カ 高圧中継警報

自動調圧中に中継圧が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点灯すること。

キ 低圧中継警報（水量不足表示）

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点灯すること。

ク 不調診断チャート機能

不具合が発生した場合に、原因の特定を容易にするため、エラー表示を液晶ディスプレイ内で確認できること。

ケ 不調監視機能

I o T通信端末を用い、発生した不具合を受注者側に自動発信し、円滑な原因特定及び初動対応を可能にすること。

コ DPR 警告機能

放水活動時に不意なエンジン停止を防ぐため、左右ポンプ操作液晶モニタに、DPR 堆積量表示を設け、一定の堆積量に達した際には警告表示する機能を有すること。

サ 自動修正時計

自動補正機能付きのデジタル時計(年月日付表示)を左右ポンプ操作液晶モニタに設けること。

- (5) 機関員の安全確認のため各放水口に流量計を設け、筒先員数の安全基準流量を判断しやすく0 ～ 4 5 0 L まで、4 5 1 ～ 6 0 0 L まで、6 0 1 L ～でそれぞれ色を変化し、表示すること。

6 吸水及び放水

- (1) 吸水口は、7 5 mmボールコック式とし、自在式エルボを取り付け、吸管が前後自由に移動できるようにし、ストレーナーを取り付けること。
- (2) 吸管取付金具は、エプロンステップ等を使用せずに隊員が容易に外せる高さとすること。

なお金具はワンタッチ式金具とし、力を入れずに脱着ができるよう工夫すること。

- (3) 呼水装置を設け、揚水完了が目視できる確認カップ及びバルブを取り付けること。
- (4) 中継口は、65mmボールコック式（ストレーナー付）をポンプ両側に各1個設け、町野式メス（蓋付）とすること。
- (5) 放水口は65mmボールコック式を車両の左右に各2個設け、町野式オス金具（65・50mmマルチコネクター）を取り付けること。
- (6) 吸水口、放水口、中継口、タンク送水口のコックは、すべて前方開きとすること。
- (7) 各ボールコックにはドレンバルブを設け、コックは90度式で車体下回りではなくポンプ室内に集約取付すること。

7 燃料タンク

- (1) ポンプ室内に燃料タンク（70L前後）を取り付け、取り付け場所は重心バランスを考慮し、可能な限り低い位置とすること。
- (2) 給油口は、外板に扉を作製して銘板を取り付けること。また、外板に作成した扉の位置は給油ノズルが干渉しないよう配慮すること。

8 キャビン

(1) キャビン外装

ア キャビン上部は、軽量かつ、十分な強度を有し、耐久性、耐熱性に優れたGFRP（ガラス繊維強化プラスチック）製を利用したハイルーフとすること。

イ キャビン上部側面左右には、埋め込み式の標識灯及び長さ600mmのLED作業灯を装備し、車両周囲における夜間活動時の安全を確保できる構造にすること。

ウ 赤色警光灯はキャビン側面方向及び前方方向に発光するようレイアウトし、高輝度オールLEDとすること。

エ 電子サイレン用アクティブ制御スピーカー及びモーターサイレンをルーフ中央に内蔵型で取付けること。

オ キャビン左右に乗降用踏台をアルミ縞板で堅牢に作製し、安全に乗降できるようにすること。

カ キャビン左右に、乗降のため必要箇所に手摺りを堅固に設置すること。（位置別途協議）

キ キャビン上部中央部付近に対空標示を施すこと。（位置等、文字サイズ別途協議）

ク 車両前面中央部に直径180mmのプラスチック製クロームメッキ仕上げの消防章を取り付けること。

ケ ナンバープレートには、ステンレス製のメッキ保護枠を設けること。

コ フロントグリルはメッキ製とすること。

(2) キャビン内装

- ア キャビン前席及び後部座席天井に、地図等が読み取れる照度のLED照明灯を設けること。なお、スイッチは取り付け部付近に設け、後部座席天井のLED照明灯は前席に光が漏れないよう取り付けること。
- イ 助手席左前側支柱部に、スイッチ付きフレキシブルアーム式LEDスポットライトを、運転席方向を照らさないよう下向きに取り付けること。
- ウ キャビン内上部の電気配線は、整理して天井内に埋め込み配線とすること。
- エ 前席及び後席は座面より1,200mmの高さを確保し、後部座席についてもキャビン床より1,600mmの高さを確保すること。
- オ フロントガラス等の曇止め防止装置（エアコン装置）を取り付けること。
- カ 運転席と助手席との間にコンソールボックスを設け、電子サイレン及び各スイッチ類（赤色灯、サイレン、各照明灯、サーチライト等）を収納し、AVMやデジタル無線機（支給品）と干渉しないよう取り付けること。（位置等別途協議）
なお、点検等のため上面に蓋を取り付け蓋は簡単に取り外せる構造とする。
デジタル無線機（支給品）、無線用送受話器をコンソールボックス付近に取り付けること。（位置等別途協議）
- キ 前席シート背当ての裏側に走行時の安全確保に必要な手摺りを設け、S字フックを6個取り付け、走行時の音を軽減するため、ビニールカバー等で覆うこと。
- ク キャビン後部座席上部を200mm程度ハイルーフ化し収納棚を取り付けること。
キャビン前部座席上部を200mm程度ハイルーフ化しサイドルーフラック（落下防止バンド付）を取り付けること。
- ケ コンソールボックス後方に、書類及び充電式ライト等を入れることのできる収納箱（底部固定式）を設けること。（寸法等別途協議）
- コ キャビン内最後部に、空気呼吸器4基をセットできる金具（クイックホルダ）を取り付け、上部に防火衣を掛けるフックを4箇所設けること。
- サ 後部座席座面は、フラットシートとすること。
- シ トランジスタメガホンを固定する金具を設置すること。（位置等別途協議）
- ス フロントガラス付近の有効な位置に配線を施し、ドライブレコーダーを設置すること。
- セ 視認性の良い位置に、デジタル時計を設置すること。
- ソ キャブチルト時、キャビンを最も高い位置まで持ち上げた状態を維持するためメカニカルなロック装置を設け、ロック装置が機能していない場合の警告措置（警告音等）を設けること。
- タ 座席に防汚シートカバーをすること。
- チ 運転室内に機関員が視認しやすい位置に、カーナビゲーションを取り付けること。
なお、カーナビゲーションについては、バックカメラ及びテレビチューナーを有しないものとする。
- ツ 運転室内に機関員が視認しやすい位置に、カーナビゲーションとは別に後方確認カメラ

システムのモニターを取り付けること。

テ 隊長及び機関員が視認しやすい位置に車両総重量・全長・全幅・全高を記したプレート等を設けること。(位置等別途協議)

10 車 体

- (1) ボデー側板は2.0mm以上の鋼板、サイドエプロン、フェンダー等は1.6mm以上の鋼板を使用し、各種積載品の取り付け金具は堅固に固定すること。

各ボデー鋼板の裏側接続を行う際は、シリコン詰め等水密及び防錆処理を完全実施すること。また、長期の使用にも耐え得るように施工すること。

- (2) 各ステップ(サイド、リヤ)は厚さ3.2mm以上の強力な防錆性能を有したアルミ縞板とすること。各ステップとも堅牢に作成し、150kg以上の荷重にも耐え得るように施工すること。

- (3) リヤステップ付近の最低地上高は、資機材等を積載し定員が乗車しても400mm以下にならないようにすること。

- (4) フロント及びリヤドアのサイドシル部、梯子乗降部、リヤフェンダーの吸管接触部等の塗装が剥がれやすい箇所に保護板を設けること。

- (5) 各金属板の外周は、内折れ加工とし点検等に危険のない構造とすること。

- (6) 車両後部右面に、上部面乗降用のステンレス製梯子を堅固に取り付けること。

- (7) 乗降用梯子下部のコンビネーションランプは、埋め込み式とすること。

- (8) 車体上部の周囲で安全上必要な場所に1段の手摺り(直径25mmステンレスパイプ)を設けるか、又はあおり仕様とすること。

- (9) ステップ、ボックス等の水の溜まる箇所には水抜き孔(パイプ付)を設けること。

- (10) 上部一面は、アルミ縞板でフラット式とすること。

- (11) ポンプ室点検口は、2枚の蓋または扉で開口し取り外せるものとすること。

- (12) ポンプ室上の積載ボックスは、別表に定める資機材を積載できる容積を確保するために、前後および左右方向に1200mm以上、高さ1000mm以上確保すること。そのスペースに区画別の可動棚と各資機材固定装置、引出装置等を設けること。

- (13) 左右のフェンダー(開閉式、ステップ兼用)内にステンレス製の救助固定用支持金具を各1個取り付けること。(位置別途協議)

- (14) 左右側面上部にLED式作業灯(長さ1700mm以上)を各1個取り付けること。

- (15) 車両後部にLED式作業灯(長さ800mm以上)を1個取り付けること。

- (16) キャビンと車体の間にLED照明灯(サーチライト)を2基取り付けること。

暴風等の悪天候下でも使用可能とし展開、収納等の作動時に隊員保護のための安全装置を備えていること。

- (17) 車両の前部に牽引用のフックを取り付け、作業時ワイヤー等がボデーに接触しないように施すこと。

- (18) 速消用スペース及び開閉式ステップ等の車両側面の外部へ開く扉等について、開いた状態で視認できるようLED照明灯を取り付けること。

1.1 ボックス類

- (1) 資機材の落下や盗難、凍結防止に配慮し、車体側面左右2枚、後部1枚の鍵付オールシャッターで耐久性、防水性を有する堅牢な構造とし、開閉は任意の位置で停止できる機能が確実な物であり、走行振動等により歪み、ガタつき防止又は開放の恐れのないロック装置を設けること。(区画、収納方法等別途協議)

仕様書に掲げる資機材を車両総重量7t未満に収まるようレイアウト設計を行うこととし、必要に応じて可動式棚や展開パネル、引出装置、落下防止手摺り、仕切り板、収納箱などを設けること。(詳細別途協議)

シャッターは下げ降ろしベルトを取り付け、ベルトを固定できるマジックテープを取り付けること。

- (2) バッテリー収納ボックス

キャビンの右後部下に防水性を有するボックス内に収納し、バッテリーを容易に固定又は解除できる引き出し式で点検等が容易に行えるような構造にすること。

- (3) 資機材等収納ボックス

キャビンの左後部下に、資機材(媒介、ホースバンド等)を収納するボックス(スノコ敷き)を設け、扉は開閉式ステップとし、上面はアルミ縞板張りとする。

- (4) 外部用無線機送受話機収納ボックス

ア 車両左右計器盤周辺で、身長150cm程度の使用者が操作しやすい位置に、外部用無線機送受話機収納ボックスを取り付け、付近にスピーカーを取り付けること。(位置別途協議)

イ 運転席側ボックス内に動態スイッチを取り付けること。(運転席側)

- (5) 速消用スペース

左右ポンプ室内の各ボールコックに干渉しない床面部に65mmないし50mmホース×2本以上を収納できるスペースを設けること。なお、シャッター間口に干渉しないよう立ち上げを設けること。

- (6) 左右側面収納(ホース収納及び資機材収納)について

左右シャッターボックス内には、ホース及び資機材を収納できるボックスを設けること。

(寸法別途協議)

必要に応じ、仕切り板、収納箱を作成し資機材を収納すること。(別途協議)

シャッター下げ降ろしベルトを取り付けること。

※ 各ブロック(スノコ敷き)ごとに転倒、落下防止用のマジックテープ又はロック式ベルト各2箇所及びLED照明灯を取り付けること。

- (7) 左側面後方ボックス(資機材収納)

左側面後方に常時取付の10m吸管および吸管巻き内に消火栓開閉具やスタンドパイプ等の資機材をストップロック部品で迅速に取り外しできる構造で取付すること。（区画、収納方法等別途協議）

付近にLED照明灯を取り付けること。

(8) 右側面後方ボックス（資機材収納）

右側面後方に常時取付の10m吸管および吸管巻き内に別途指示する資機材を取付すること。（区画、収納方法等別途協議）

付近にLED照明灯を取り付けること。

(9) 車体上部にアルミ縞板製資機材ボックスを設けること。

扉は上開き、外側上部にステンレス製の蝶番、ストッパー付（ダンパー）、内面の底部には「すのこ」を敷き、ボックスの下にH鋼等（完全な防錆対策を施す）で、空間を設けること。ストッパーは十分開いて安定した位置で固定し、走行による振動や衝撃等にも緩みや、ガタつくことのないよう施工すること。（位置別途協議）

(10) 後部収納ボックス

車両後部中央にシャッター式の収納ボックスを設けること。

上段に仕切り板を設け（寸法別途協議）、資機材を収納すること。

必要に応じ、収納箱を設けること。（別途協議）

下段に車輪折りたたみ型加納式ホースカー（タイヤはパンクしない構造とすること）を収納すること。なお、動力昇降装置と昇降用スイッチを付近に設け、隊員1名でも容易かつ安全確実に積み降ろしができること。

装置は走行時の振動、衝撃等に耐え得る堅固なものとすること。

※ 各ボックスは堅牢かつ水密構造とし必要箇所には仕切り板を設け、蝶番ネジ類はステンレス製とすること。（寸法は収納品、側板高さ等により変更する場合がある。）

車両後部ボックス内（ホースカー収納奥）に小型ポンプ収納スペースを設けること。

C-1級の小型動力ポンプ（VE20A）を収納できる大きさとし、金属性架台（ローラー式引き出しレール、ハンドルストッパー付）を設け内部にLED照明灯を取り付けること。

扉部にストッパーを取り付け、下方に開き二人で両側から取り出せるようにすること。

1.2 計器類

(1) ポンプ室両側の計器盤には圧力計、連成計、流量計、真空計を設けること。

(2) 運転席から見やすい箇所にエンジン回転計及び油温計を取り付けること。

(3) 車両左右側面にポンプ回転計を取り付けること。

(4) 車体前後左右にシグナルコミュニケーター式LED補助警告灯LPP-31-20を設け、緊急走行中は車両のウィンカーと連動し、周辺一般車両への注意を促すよう点滅すること。また、消火活動時は消防車両のポンプの運転状況をモニタ装置の信号と連動させ、LED赤色点滅灯の点滅パターンによって、火災現場に従事する消防隊員等にポンプの運行状況を知らせる

ものとする。また、操作上の異常が発生した場合は、点滅灯に連動して音声にて異常の内容とその対処法を音声ガイダンスにより発すること。

- ・点滅パターンは以下の通りとする。

- ア ポンプ待機モード（ポンプの動作に連動）

- イ ポンプ放水中モード（ポンプの動作に連動）

- ウ 警報/エラーモード（ポンプの動作に連動）

- エ 緊急走行モード（赤色警光灯に連動）

- オ 右折モード（車両ウィンカーに連動）

- カ 左折モード（車両ウィンカーに連動）

- キ 高警告モード（オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

- ク パトロールモード（オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

- ケ 現場活動モード（オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

- コ 住宅走行モード（オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

- サ 現着減光モード（オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

- ・音声ガイダンスは以下の通り

- ア 冷却水警報

- イ 真空タイム警報

- ウ 吸水圧力警報

- エ 低圧中継警報

- オ 高圧中継警報

(5) 夜間での活動時など、周辺環境の照度が低下し、ポンプ操作盤液晶ディスプレイの自動調光機能が働いた場合には、自動的にポンプ動作中の補助赤色灯の明るさを下げ、作業への支障を軽減できるようにすること。

(6) 計器類の取り付け部分はステンレス板とすること。

(7) 夜間作業に必要な箇所にLED照明灯を取り付けること。

1.3 冷却装置

(1) 標準装備仕様とし調整バルブは操作に便利な位置に設けること。

(2) 配管には、予備回路付のストレーナーを設けること。

1.4 警報信号装置

(1) 赤色警光灯はキャビン側面方向及び前方方向に発光するようレイアウトし、高輝度オールLED（大阪サイレン製MRA-B310）とすること。

(2) 電子サイレン用アクティブ制御スピーカー及びモーターサイレンをルーフ中央に内蔵型で取付けること。

(3) 散光式警光灯（モーターサイレン内蔵）をキャビン上部に取り付けること。

- (4) 赤色ストロボ式点滅灯（LED）を車両前部左右、左右側面上方（各3個）、後部左右上方に取り付けること。

車両後部赤色ストロボ式点滅灯には、保護枠付きで設置すること。（位置等別途協議）

1.5 塗装及びメッキ

- (1) 塗装の外面は朱色（消防車緊急車仕様）とすること。
- ア フレーム、フェンダー内側、ステップ裏側、その他車体の下回りは黒色とすること。
- イ ステップ並びに床面は、アルミ縞板仕上げとすること。
- ウ 補修用塗料として、朱色と銀色各1色付属させること。
- (2) 塗装は素地調整を行った後、プライマー塗り、パテ付け、水研ぎ、サフェイサー等の工程で下地処理を完全に行い、良質のウレタン塗料を使用し3回以上の上塗りで仕上げること。
- (3) 次のものは上質のアルマイト処理を行うこと。
- 計器盤、各操作レバー、把手、手摺り、止金具、照明灯、筒先金具その他塗色以外の露出部。ただし、鉄製品は銅メッキのうえ行うこと。
- (4) 各配管は動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（第10条）の塗色とすること。
- (5) 車体の下回り及びアルミ縞板部分は、塩害を考慮し塗装を施すこと。

1.6 デジタル無線機関係

- (1) デジタル無線機（本体支給品、共用機含む）を現有車両から取り外し、新規購入車両へ乗せ替えること。（セットアップ含む）施工については当組合と協議し調整すること。
- (2) キャビン上部にデジタル無線機用のアンテナを2本取り付けること。
- アンテナ間の距離は1.2m以上開け、アンテナ基部に障害物に有効なスプリングを取り付けること。（位置別途協議）
- 室内のアンテナ取り付け位置からデジタル無線機まで空中線ケーブル（新規品）を配線すること。
- 送受話器は無線機本体、車両左右側板の計3個とし、無線機本体の送受話器は支給品、車両左右側面は新規品とし、車外通話器までの配線を施し堅固に取り付けること。
- (3) デジタル無線機取り付け金具をコンソールボックス付近に取り付けること。
- （位置別途協議）
- (4) バッテリーから無線機までの電源ケーブルは外観を考慮し配線し、接続端子を取り付けること。
- 接続端子は容易にはずれない端子を使用すること。
- (5) 電気回路には、短絡等による部品の損傷を最小限にするための保護装置（ヒューズ等）が、系統別に区分して設けられていること。
- (6) キャビン内にデジタル携帯無線機充電用のコンセント（AC100V）を設け、外部電源で充電できること。

1 7 車載型端末装置（以下「AVM」という。）関係

- (1) AVM（本体支給品）を現有車両から取り外し、新規購入車両へ乗せ替えること。（セットアップ含む）施行については当組合と協議し調整すること。
- (2) コンソールボックス付近にAVMを架台付で取付けること。（セットアップ含む）
- (3) AVMまで空中線ケーブル（新規品）を配線すること。
- (4) AVM用の電源を設け（新規品）、本体まで配線すること。

1 8 記入文字

- (1) キャビン左右側面
 - ア 文 字 「安房郡市消防本部」「鴨川ポンプ1」
 - イ 色 等 丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）
 - ウ その他 両側面とも左書きとすること。
- (2) 車体後部
 - ア 文 字 「安房郡市消防本部」「鴨川ポンプ1」
 - イ 色 等 丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）
- (3) キャビン上部
対空標示文字 「鴨川ポンプ1」（字体、寸法別途指示）
- (4) 散光式警光灯（標識灯）
「鴨川消防署」（字体、寸法別途指示）
- (5) 車体前部
 - ア 文 字 「鴨川ポンプ1」
 - イ 色 等 丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）
- (6) 車体側面左右シャッター部
 - ア 文 字 「AWA FIRE DEPT.」
 - イ 色 等 丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）

1 9 その他

- (1) ボデー外面に使用するボルト、ナット、ワッシャー類はすべてステンレス製とし、ナットを使用せずにボデー鉄材等に直接ネジを切る場合は、ボルトの径と同じ厚さになるように当て板を溶接するか、溶着ナットを使用すること。
- (2) 車両前面中央部に直径180mm程度のプラスチック製クロームメッキ仕上げの消防章を取り付けること。
- (3) 後部ナンバープレートの取り付け位置は、車体後部とし周囲に堅牢な保護枠を設け、道路運送車両法施行規則第7条を遵守し取り付ける。（詳細位置については別途協議）
- (4) 各機器操作部には、名称、矢印、取り扱い方法を記入したプレートを設けること。

- (5) 各手摺りは直径25mm以上のステンレスパイプを使用すること。
 - (6) フロントバンパー上面等の足を掛ける場所に、アルミ縞板による保護板を取り付けること。ただし、標準装備で同程度の機能を有するものが施工されている場合は除く。
 - (7) キャビンと車体間にLED照明灯を左右各1基取り付け、1m程度のアルミ製軽量伸縮柱で地上から容易に展開、旋回、収納が可能であること。

暴風等の悪天候下でも使用可能とし展開、収納等の作動時に隊員保護のための安全装置を備えていること。
 - (8) 灯火類、照明灯類には必要に応じステンレス製保護枠を取り付けること。
 - (9) ヒューズボックスを増設し、機器はすべてヒューズを通すこと。(コンソール部)
 - (10) キャビン内に乗降の際、足の接触する部分にはアルミ製保護板を取り付けること。
 - (11) ドアにサイドバイザーを取り付けること。
 - (12) 左サイドミラーは電動収納式で、サイドミラー下に隊長用ミラーを取り付けること。
 - (13) フロントガラス外面の上側及び下側にそれぞれ把手を取り付けること。
 - (14) ボデー下部のリヤタイヤ前方左右に保護枠付LED型路肩灯を堅固に取り付けること。
 - (15) 外部電源コネクタ(車両側マグネット式)を運転席側に設け防水措置を施すこと。また、車両バッテリー等の簡易充電、オイルパンヒーターも行える切換え両立仕様でコードの長さは1.5mとする。
 - (16) GPSカーナビゲーション(テレビチューナーレス)を指示する場所に取り付けること。
 - (17) 後方確認カメラシステムを指示する位置に設置すること。
 - (18) ドライブレコーダーを指示する位置に設置すること。
 - (19) 雨天時においても使用できる資機材注記用シールを大小必要数つけること。(枚数、字体等別途協議)
 - (20) 許容荷重のあるものについては腐食や変形に強い素材を使用した銘板を取り付けること。
- ※ 取り付け品、付属品の積載場所方法については別途指示し、必要なもの及び特に指示するものは現物合わせによること。

第3 付属品

1 ホースカー

- (1) 65mmホース10本を収納可能な構造であること。
- (2) 管鎗(50mmアルミ製)、分岐管(WB-65MC)及び媒介金具(65mmメス×50mmオス)を積載可能な構造とすること。
- (3) ホースカー上部に、小型ポンプが積載可能であること。
- (4) 制動装置を設けること。
- (5) 停止時、ホースカーが平行になるようスタンドを設けること。
- (6) ホースカー四面に反射テープを取り付けること。(色、位置等別途協議)

2 三連梯子及び積載梯子昇降装置

- (1) 車体上面に三連梯子を積載するための手動昇降装置を備え、昇降操作は省力化を図ること。
なお、三連梯子積載架台の側面側にとび口 3 本程度を取付できる構造とすること。
- (2) 操作は地上で行えるシーソー式構造のこと。また、ロック機構は、安全確実な構造で操作を地上で行えること。
- (3) 身長 1 5 0 c m 程度の使用者が操作しやすく、かつ展開時に架台と地上との高さが三連梯子の積み下ろしを安全に行えるよう展開角が最大 7 5 度以上とし、可能な限り近づける工夫を行うこと。
- (4) 三連梯子積載装置はアルミニウムおよびステンレス製を主とした材質で構成された錆や塗装剥がれに配慮されたものとする。

3 小型ポンプ

小型ポンプ（V E 2 0 A）を、後部収納ボックス（ホースカー奥）に積載すること。
容易に取り出せ、走行等の振動に耐え得る構造とすること。
放水口を 5 0 mm / 6 5 mm のマルチコネクターとすること。

4 吸管

- (1) 車両用吸管は、7 5 mm 軽量吸管（スーパーデラックス）とし、灰色（反射線入り） 1 0 m を左右側面後方シャッターボックス内に各 1 本常時吸水口接続積載すること。（吸管的の巻きは真円に近い構造とする。）
化学繊維製耐水ロープ（直径 1 0 mm 長さ 1 5 m）を左右各 1 本付けること。
プラスチック製塵よけ籠を左右各 1 個付けること。
- (2) 小型ポンプ用吸管は、6 5 mm 軽量吸管とし、屋上面のポンプ室点検開閉扉に支障のない位置又は天井ボックス内に固定金具により固定すること。
化学繊維製耐水ロープ（直径 1 0 mm 長さ 1 0 m）、プラスチック製塵よけ籠、プラスチック製ストレーナー付
※ 高速走行時を考慮し、塵よけ籠等が暴れないための処置を施すこと。

5 照明器具

発電機（E U 9 i 型と同等品）、投光器（L E D 型 6 0 W 以上）、コードリール（3 0 m）、コード（2 m）、三脚の照明器具一式をポンプ室上部に積載すること。
必要に応じ枠箱を作成し、容易に取り出せ、走行時の振動等に耐え得る構造とすること。

6 とび口

とび口（3 本）を堅固な取り付け金具にて設け、刃先部分に安全枠を設けること。（位置等別途協議）

7 消火器

A B C粉末消火器(薬剤質量6 k g入り車載用、カバー付き)を固定金具により積載すること。
(位置別途協議)

8 バックボード(積載位置装置付)

バックボード本体、ヘッドイモビライザー、ストラップ1組、ベルト6本(バックルはプラスチック製)を天井縞板ボックス蓋裏に積載装置付で取り付けること。(位置別途協議)

第4 補 足

- 1 車両の検収及び積載品の検収、AVM、消防救急デジタル無線の移設を含め、すべての作業を納入期限まで完了すること。

車両の納入期限は令和8年3月25日とする。

受注者は、社会情勢の影響等、受注者の責めに帰すことができない理由により、上記納入期限の履行が不能となる場合は、その理由を明示した書面により、発注者に納入期限の延長変更を請求することができる。

発注者は、上記請求があった場合において、必要があると認められるときは、納入期限を延長しなければならない。

また、シャシーの提供遅れにより遅延が発生する場合は、別途協議するものとする。

- 2 車両の納入は受注者が行い、車両納入までに行う検査に要する費用等、納入までの間に要した費用の一切を受注者が負担すること。ただし、リサイクル料、自動車損害賠償責任保険料、重量税は組合が負担するため、別途請求すること。
- 3 金額については、支給品等の設置工事費及び上記物品の取り外し費用を含め計上すること。
- 4 車両の搬入、搬出、保管時の事故責任は、受注者が負うものとする。
- 5 納車後、必要により組合の指定する日程で、すべての取り扱い説明を行うこと。
- 6 車両の納入先は、安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部とする。
- 7 仕様書中、型式に指定があるものについては、仕様を確認の上納入するところ。なお、同等品を納入する場合は、事前に同等性能の証明書類を提出し、当組合の承認を得ること。

N o	品 名	数 量	寸 法	取付位置	摘 要
1	ポンプ圧力計	2	1 0 0 mm	左右各 1	
2	ポンプ連成計	2	1 0 0 mm	左右各 1	リタード式
3	エンジン回転計	1			
4	エンジン油温計	1			
5	ポンプ真空計	2		左右各 1	
6	流量計	2		左右各 1	積算流量計（内蔵型）
7	照明灯（前）	2 式		屋上前面	佐藤工業所製フラッシュボーイ SPQ15 手動伸縮柱付
8	後退警報ブザー	1		後退灯付近	音声付
9	散光式警光灯	1 式		キャビン上部	大阪サイレン製MRA-B310、モーターサイレン、ハイルーフ左右側面「鴨川消防署」名入り
1 0	電子サイレン	1 式		コンソール	M a r k - D1（津浪警戒、DRヘリ）
1 1	空気呼吸器固定金具	4		キャビン内後部	クイックホルダ
1 2	ポンプ回転計	各 1		側板左右	
1 3	空気呼吸器	4 組	A 1 - 1 2	キャビン内後部	※ボンベ無し 面体カバーグラス A 1 - 1 2 型 面体収納袋付
1 4	キャブチルト装置	1			電動油圧式
1 5	車外無線送話機取出口	2		左右各 1	ボックス型
1 6	牽引用フック	1		車両前部	引張荷重 3 t 以上
1 7	ホース延長用資機材	1		車両後部	軽量 加納式（ホース）ノーパンク仕様
1 8	油圧電動昇降装置	1 式			加納式ホースカー用
1 9	手動式昇降装置	1 式		車両天面	シーソー式昇降装置
2 0	GPSナビゲーションシステム	1 式			メーカー純正品（テレビチューナーレス）
2 1	無線機移設	1 式		本体（支給品）、空中線等（新品） セットアップ含む	
2 2	A V M移設	1 式		本体（支給品） セットアップ含む	

【附属品】

N o	品 名	数 量	寸 法	取付位置	摘 要
1	吸管	2	1 0 m	左右各 1	軽量（反射線入り）L F－R S
2	吸口ストレーナー	2			ステンレス製
3	吸管ストレーナー	2			プラスチック製
4	吸管ちりよけ籠	2			プラスチック製
5	吸管まくら木	2			
6	吸管ロープ	2	化学繊維製耐水 10mm×15m 岩崎製作所ストカゴ用		
7	吸管用媒介金具	2	ストカゴ+ヒップラー媒介+ガイドロープ+差込オス媒介		
8	吸口自在式エルボ	2	7 5 mm	左右各 1	YONE スーパースイングエルボ
9	消火栓金具	2	7 5 mmメスネジ×6 5 mm差込メス、キャップ付、プロテクター付		
1 0	中継用媒介金具	2	6 5 mmメスネジ×6 5 mm差込メス、キャップ付		
1 1	消火栓開閉金具	1 式		開閉ハンドル、キー(T型及丸蓋用)	
1 2	吸管スパナ	2			
1 3	管鎗	4	ヨネ 5 0 mm eノズルホルダー（ガンタイプノズル型）× 2 ヨネ スーパーストリーム管鎗 P P－5 0 A／E X S・L ヨネ 無反動管そう α P L－5 0 A		
1 4	ノズル	6	オートマチックGフォースノズル× 2 L X-Gフォームジェット ヴァリアブルノズル（2 3 mm）× 2 1 9 mmスムーズノズル		
1 5	媒介金具	9	65mmメス×65mmメス 65mmオス×65mmオス× 2 50mmメス×50mmメス 50mmオス×50mmオス 65mmメス×50mmオス× 2※ 65mmオス×50mmメス 65mmメス×蛇口（1口） ※ホース積載用（65mmメス×50mmオ× 1）		
1 6	放口媒介金具	4	65mmメスネジ×マルチコネクター× 2 65mmメスネジ×マルチコネクター× 2（自在金具） ヨネ		
1 7	とび口	3	1 . 8 m	車両固定金具含む	
1 8	金てこ	1	1 2 0 0 mm		先端部ハガネ入り
1 9	剣先スコップ	1			
2 0	車輪止	2			ゴム製大型
2 1	消火器	1			A B C 粉末 6 kg 入り（車載用）
2 2	工具	1 式			K T C 工具（SK3560WZR）
2 3	ホース	2 0	6 5 mm（低損失・使用圧1.6M p a 以上） ハカマ色 6 5 mmオレンジ YOKOIPRO U-ST16 初付		
2 4	ホースバンド	2 0	65・50mm兼用		シマダ折用 マジック式 YOKOIPRO (YSBE-007, YSBE-007-L)
2 5	タイヤチェーン	1 式			シングルタイヤ用

26	分岐管	2		MC分岐ボールバルブ	
27	ホースブリッジ	1式		ゴム製 CB-450	
28	ワイヤー	1		牽引用	AKT-S10300
29	照明器具	1式	発電機 (EU9i型)、投光器 (LED型60w以上 小型軽量) コードリール (30m)、コード (2m) 三脚付		
30	積載はしご	1		屋上面	ステンレス製三連式 (キャスター付き)
31	ホースバック	2			軽量 (FSJAPAN FS1型)
32	おの	1			
33	掛矢	1			
34	スタンドパイプ	1			PS-65 長さ715mm
35	背負式消火水のう	4			
36	レスキューナイフ	1			Meltec FT-16
37	赤色ストロボ式点滅灯	10	LED型ストロボライト 車両前部、左右側面、後部		
38	計器灯	2			LED型
39	ポンプ室内灯	2		ポンプ室内	LED型
40	発電機収納ボックス室内灯	1			LED型
41	ボックス内室内灯	1式			両側、後部ボックス内照明
42	後部座席照明灯	1式			LED型
43	スポットライト	1式			スイッチ付 (助手席ピラー部)
44	路肩灯	2		左右後輪部	LED型 保護枠付
45	後尾灯	2			保護枠付、バックランプ組込
46	フォグランプ	2			標準装備の場合は除く
47	コンソールボックス	1		キャビン内	無線機 (支給品)、デッキ、サイレンス スイッチ類取り付け
48	立上り消火栓キー	2			まえざわ式 (09MAE00F)
49	安全中継媒介	1	65mmネジ×65mmメス		トーハツ コワレンゾー
50	小型動力ポンプ	1	C1級VE20A		
	吸管	1	65mm×6m	上部	車両固定金具含む
	枕木	1			
	吸管止めバンド	3			
	吸管ロープ	1	化学繊維製耐水 10mm×10m		
	消火栓金具	1	65mm		
	吸管ストレーナー	1	65mm		プラスチック製

	吸管ちりよけ籠	1	6 5 mm		プラスチック製
	放水口金具	1	5 0 mm/ 6 5 mmマルチコネクター		
	燃料缶	1	1 0 0 缶		
5 1	放口レンチ	2			吸管兼用
5 2	泥除け	4		全輪	
5 3	スベアタイヤ	1	車両取り付けタイヤと同一種類（全天候型ラジアル）		
5 4	フロアマット	1 式			前後席用
5 5	エアコン装置	1 式			エアコン装置一式
5 6	乗降用梯子	1		後部左側	ステンレス製
5 7	乗降用ステップ	2			ステンレス製折りたたみ式
5 8	燃料缶	1	50 缶		混合ガソリン用 T S-5
5 9	反射式合図灯	2			防災マルチライトAタイプ 株式会社サンエイ
6 0	停止表示板	1			認定品
6 1	三角コーン	4	ライトアップコーン (折畳式、LED点滅式、新ニッケル水素電池充電器、おもり付)		
6 2	メガホン	1			レイニーメガホンT S-633R
6 3	チェンソー	1			S R 3 6 5 同等品
6 4	携帯型破壊器具	1			ハリガンツール
6 5	充電式ライト	4	ルミテック製 スティンガーH P L 充電器一式 予備電池各 1 本		
6 6	対空標示	1	「鴨川ポンプ 1」		
6 7	消防章	1			
6 8	漏水止め応急バンド	1 0	マジックテープ式		
6 9	隊長用ベスト	1	セイバーズ 防火服専用ベスト 黒 文字「鴨川消防署」 スライド式台座 肩部、腰部各 1		
7 0	防刃ベスト	4	イマジョーTX440		
7 1	現場見取図板	1			KS-A型
7 2	双眼鏡	1		海岸監視用 防水 SIWP10×25	

7 3	プライバシーシート	2		クイックシールドNEO
7 4	エンジンラップ	1		ピストル型 金属製
7 5	住宅地図	1 式		鋸南町、南房総市1・2・3、鴨川市
7 6	デジタル時計	1		キャビン内
7 7	バックボード	1 式		本体 ヘッドイモビライザー ストラップ ベルト6本（バックルはプラスチック製）
7 8	ドライブレコーダー	1 式		ドラレコ セルスターCS-81WQH 同等品以上
7 9	後方確認カメラシステム	1 式		バックモニター カーヴィジョン形式 C5005R・CM7220R・K7210R
8 0	20 用ボンベ減圧弁	1 式		日本船舶薬品 FLW2型（ヨーク型）
8 1	救急資機材セット	1 式		消防車EMセットA型（日本船舶薬品） バックと酸素ボンベ以外のもの全て 酸素ボンベのレギュレーター等を入れる
8 2	救急資機材バック	1	8 5 物品収納用	消防車EMセットの酸素ボンベ、マスクを抜いたもの が収納できるリュック式の物 ワコー ジャンプキットバックS WJK-S
8 3	救命胴衣	5		フジクラFN-80（要救助者用含む）
8 4	トラロープ	1		9mm×100m
8 5	外部電源コード	1		キャブタイヤコードマグネット式15m電源コード
8 6	夜間用筆記盤	1		ジェイウィンLED内照図板（トレース図板）
8 7	布担架	1		175cm×70cm（持手左右3個付き）安房消防仕様
8 8	巻尺	1		50m
8 9	酸素バック	1		オキシゲンキャリーバックモデル5122
9 0	給油ポンプ（大）	1		携行缶からの給油用
9 1	ブースターケーブル	1		大型車用
9 2	スペアキー	2		
9 3	牽引用ワイヤー・シャックル	各1		
9 4	ヒーターサイドミラー	1 式		
9 5	トリアージシート	1 セット		ETS-SHEET（5.4m×5.4m）
9 6	トリアージテープバック	1		WT-B4